

平成24年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495300194	事業の開始年月日	平成23年12月1日
		指定年月日	平成23年12月1日
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 たかつ新館		
所在地	(〒213-0031) 川崎市高津区宇奈根 637-6		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		工外数	2工外
自己評価作成日	平成24年 12月21日	評価結果 市町村受理日	平成25年7月16日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「花物語たかつ新館」は、笑顔の絶えないスタッフが心一つにお迎えいたします。地域の中で季節を感じながら生きがいのある生活を提供し、その方らしさを探求し続け、ご家族の気持ちに寄り添い、穏やかな気持ちでお過ごし頂く場を作ります。また施設（メディカルビレッジ高津）には、かかりつけ医院や薬局もあり安心して暮らし頂ける環境が整っております。近隣には多摩川緑地・氷川神社があり、お散歩コースも充実しております。平成24年12月1日開設。認知症対応型共同生活介護と、小規模多機能型居宅介護の複合施設です。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年1月21日	評価機関 評価決定日	平成25年7月4日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

**【事業所の概要】**  
この事業所は、JR南武線久地駅から徒歩12分の住宅地に立地している。駅から幹線道路を歩き、生活道路を300メートル入った静かな環境である。道路は平坦で歩きやすい。建物は鉄骨3階建てで1階に同法人の小規模多機能型居宅介護事業所を併設している。グループホームは2～3階で2ユニットとなっている。屋内はバリアフリーで手すりを完備し、エレベーターで移動でき、利用者の安全に配慮されている。

**【恵まれた周囲の環境】**  
医療機関や薬局と介護事業所が集まった「メディカルビレッジ高津」の一角に所在している。1階に小規模多機能型居宅介護を併設し、別棟に4年前に開設した同法人の「花物語たかつ」がある。医療機関、薬局、介護事業所が相互に連携し、協力関係があり暮らしやすい環境である。

**【花物語の花】**  
事業所の名称「花物語」に因んで職員から「花守」を任命して、玄関をはじめ事業所の各所に生花や鉢ものなど様々な花を飾っている。事業所内は美しく、華やかな雰囲気が溢れている。

**【チームワークで寄り添う介護】**  
職員は20代から60代まで年齢層の幅が広いが、向上心のある方が多い。コミュニケーションが良く、チームワークが取れている。笑顔を大事にして利用者へ寄り添い、広い年齢層を活かして利用者や家族的な雰囲気を醸し出している。行事やレクリエーションも職員と利用者が一緒に企画し、誕生日会や納涼祭を盛り上げている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 たかつ新館
ユニット名	2F

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設理念を念頭に置き、ご入居者一人ひとりの情報を共有し職員一丸となってサポートしています。また、ご家族の思いや悩みをうかがい、そのお気持ちを考えながら、笑顔とふれあいを大切に施設がご入居者・ご家族の居場所と感じていただけるよう日々の介護を行なってます。	事業所開設時に職員が話し合い「花物語たかつ新館の思い」を作成した。事務室、スタッフルームに掲示して職員に周知している。新入職員にはオリエンテーションで説明し、申し送りや会議で確認して、実践に活かしている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、近所の神社納涼祭や例大祭に参加しています。散歩の時には、近隣の方にご挨拶を心がけ、近隣の方からも声をかけていただくこともあります。	町内会に加入している。神社のお祭りでは神輿や山車が玄関前の広場まで入ってくれ、利用者も見物して地域の人々と交流している。折り紙、体操、傾聴、フルート演奏の地域のボランティアが来訪し、楽しませてくれる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設の見学会や説明会を開催し、近隣の方々を招いて施設の説明と同時に、認知症や介護保険についても説明をしています。また、近隣の納涼祭に参加し、地域の方に認知症の人と触れ合いの機会も持っていただくと共に、認知症の人でもできる事を理解していただくよう努めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でいただいた意見をもとに、非常災害時の対応や行事についてのご提案に合わせ検討、実施をしています。また、参加した入居者様からもご意見をいただき話し合いを行っています。	同法人の「たかつ」「たかつ新館」「小規模多機能型事業所」と合同で2か月毎、年6回開催している。町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族、利用者が参加している。活動報告と災害対策の意見交換をしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高津区近隣の地域包括支援センターや、近隣の民生委員、地域住民の公園体操への参加や訪問を重ね、運営推進会議や施設見学会の情報をお伝えしたり、相談に乗っていただいたりアドバイスをいただいています。	区役所には運営推進会議の議事録を届け、要介護認定更新の手伝いの際に、事業所の状況を伝えている。区から研修の案内があり、入居の照会もある。区のケアマネージャー連絡会に加入し、情報交換をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修にて『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、事例検討を含めて、職員への指導を行っています。現在身体拘束を行っている入居者様はいらっしゃいませんが、必要に応じて家族を含め話し合いを行っています。また、フロアドア・施設玄関については安全防犯上施錠されていますが、入居者様のご希望に応じて職員と共に外出していただいています。	法人の研修計画を基に、毎年1回身体拘束をテーマに研修を実施しており、職員に徹底している。玄関とユニットの入口は防犯上と安全上、施錠をしているが、利用者が「閉じ込められている」と感じないように、外に出たい様子の時には率先して声かけをして、一緒に出かけている。職員同士で連携して利用者の見守りをしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で、事例検討を含め、どういった場合が虐待になりうるケースなのかを話し合い、理解を深めています。職員も虐待を見過ごさないように意識を高く持つように心がけています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	このサービスを必要としている利用者は、まだいませんが、認知症ケアを行う上で、必要な知識として、職員間でも話し合いの場を持っています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、話し合いを多く持ち、お互い納得の上でご入居いただいています。特に、終末期ケアや、医療行為に関する疑問を具体的に説明し、転倒の不安がある方には、対応方法の具体的な事例を挙げ、ご家族のご意向として、ケアに反映しています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の面談や、随時の電話連絡により、家族の意見を取り入れるよう努めています。日々の利用者との関わりや家族との相談の中で、行事に関すること等の要望があり、運営推進会議にて話し合い、取り入れています。	家族の来訪時や電話連絡時に意見を聞くようにしている。行事食や外食の希望などがある。家族会はないが、納涼祭やバラ園への外出時などに家族同士の話し合いの機会を作っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社全体の運営会議や施設でのスタッフ会、フロア会、社員会を通じて意見や提案を検討し、よりよいものにできるよう努めています。日々のケアやカンファの中で、意見の検討を行いながら、随時取り入れています。	月1回の各階のフロア会で意見を集約し、リーダー格の職員による社員会で検討し決定している。昨年の法改正に伴い、勤務時間、業務分担、掃除の簡略化などを話し合った。管理者は雇用契約締結時の他にも個人面談で、職員の話聞いています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望等、契約条件などを考慮し、雇い入れを取り交わしています。意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してもらうよう、伝えています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備してあります。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけている。また、同一敷地内のグループホームと合同行事を行うことでお互いの気づきを勉強しました。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市町村等からの研修等や他施設見学に参加する事により、同業者との情報交換やネットワークを構築するよう努めている。また、他事業所との職員間の交流も行っており、サービスの向上を心がけている。		

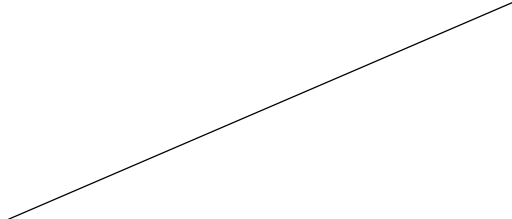
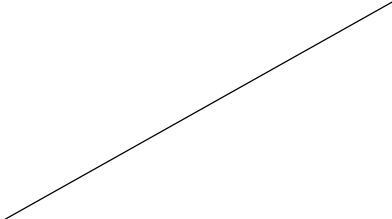
自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、家族や本人に要望や不安ごとを聞き、利用開始時にはアセスメントをしっかりと、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話していただけるような関係性を持つようにしている。アセスメントを元にご本人の趣向に合った会話することで早期の信頼関係の構築が出来る様に努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人ご家族が困っている事や不安な材料や要望を聞き取るよう常に連絡を取り合い、アセスメントや介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。例としては、入居者の小遣い持参について、ご家族から要望があり、小さな金額に収めていただくこと、家族が管理していただくこと、来設時に確認すること、そのお金は使用しないこと、紛失の可能性もあるという説明をしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症の度合いや、おかれている環境を把握し、入居者と家族の物理的精神的環境を考慮し、GHが適切かどうかとも考慮し、サービスにつなげています。場合によっては、小規模多機能型居宅介護や、他事業などへの紹介も行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意思を第一に尊重し、本人のADLや意欲に沿った方法で、職員や他利用者と共に行うことで完成し、仕事ができる喜びを分かち合い、他者と協力し合ながら生活できるように努めています。		

19	<p>本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場 に置かず、本人と家族の絆を大切に しながら、共に本人を支えていく関係を 築いている</p>	<p>常に家族の意見も反映できるように し、ご本人の情報をご家族とも共有 し、一方通行にならないように心がけ ています。帰宅願望の強い方への対応 については、声掛けの仕方を相談した り、本人の要望に応じ、手紙を持参し ていただいています。</p>		
----	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人に電話連絡がしたいとご要望があるときや、携帯電話にかかってきた電話に対し、聞こえるように、わかるように、コミュニケーションの支援を行っています。また、普段の会話の中で思い出深い場所についての話題を取り入れ情報収集に努めています。また、ご家族との外出時などに自宅など馴染みの場所へいけるよう促しています。	友人や知人が訪ねて来るとお茶を出し歓迎している。行きつけの美容院には職員が付いて行く。家族との墓参りに頼まれて職員が付き添うこともある。手紙を書く手伝いや電話の取り次ぎ、携帯電話の操作を支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生日会や季節の行事、納涼祭等、入居者同士の親睦を深めるため他ユニットと合同で行っています。また、職員がご入居者の間に入り会話の掛け橋になることで、会話のキャッチボールができるよう支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了時は、ご家族を通じて、他事業者への情報提供等、支援を行っています。また、入院の際のお見舞いや手紙の発信などにより良い関係性が継続できるよう努めています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中で、意向や希望の把握を随時行っています。ご本人の要望にあわせ、入浴のご希望や、食事内容を変更したり、お散歩のお手伝いをさせていただくなど、ご入居者の意向を第一に実現できるよう職員で協力しています。また、外出、外泊など職員・ご家族の協力で実現し本人の要望に応えられるよう努めています。	日常生活の中で居室にいる時、入浴中など職員と2人だけになる時に意向や希望を聞いている。意向の把握が困難な方は家族から話を聞いたり、表情や仕草から推測したりして、本人本位で判断している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居後も、利用していた担当ケアマネジャー及び、家族や本人から情報を得て、今までやってきた家事や生け花等の趣味等が継続できるよう、利用に至る敬意や生活環境なども職員間で共有し、今までの生活習慣が継続できるような支援に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、小さな変化や発見など、気付きを大切にし、職員一人ひとりが、利用者の現状をしっかりと把握し、必要な支援について個別ケアに努め、話し合い対応しています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為、ご本人との会話を大切にし、面会時家族や担当者会議にて職員からの情報を多く得て、介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。	3か月毎に担当者会議でモニタリングをし、職員から情報を得て介護計画の見直しをしている。家族の希望や医療援助記録も参考にしている。また、体調の急変時にはその都度、介護計画の見直しをしている。	

27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録に、時間ごとのご様子や、入居者の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書への反映、見直しを行っています。</p>		
----	--	---	---	---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性（今までの生活歴等）を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援や親類との関係の調整など、必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の会員になっており、回覧板や町内会から情報を得て、納涼祭や例大祭に参加しています。地域活動への参加等を通して、心身の力を発揮し豊かな暮らしを楽しんで頂くよう支援しています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の定期往診を受けていただいています。心身状態について家族や主治医と常に連携を取り、本人が適切な医療を受けられるよう支援しています。また、定期往診を受けていらっしゃる方も、家族との関係性を重視しながら、精神の状態に応じ、職員が付き添いを行っています。	入居前のかかりつけ医を家族が付き添って受診する1名以外は、全員が協力医の月2回の往診を受けている。看護師は週に1～2日、5時間勤務し、協力医同様24時間対応可能である。歯科は月2回の往診がある。その他科目は家族が付添い受診し、難しい時は職員が対応して結果を電話報告している。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りやケアの中で、相談を行ったり、個人記録に記入など、情報の共有を行い、適切な受診や看護につなげています。また、看護師による介護職員への指導も行っており、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中のお見舞いでの看護師からの状態報告や、家族との連絡を取ることで、本人の状態を把握するよう努めています。また、退院時にはご家族と共に付き添い、医師から退院後の対応について話しを伺い、施設での生活が快適に過ごせるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>指針について入居時に説明し同意を交わし、家族の意向を確認しています。病気発見時は家族の協力を得る為早い段階より十分に話し合い、主治医との連携をとり支援に取り組んでいます。また、急変時対応マニュアルを作成し、職員間で共有しています。どのような状態の時に悪化とするのかを明記し、職員に周知しています。</p>	<p>入居時に本人、家族に「重度化した場合の対応指針」を説明し、同意書を得ている。ターミナルケアマニュアルを作成し、研修で職員に説明して方針を共有している。開所して1年で未だ事例はないが、関係者の足並みを揃えて、今後に備えている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入社時の研修や、社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告、状況等事例や対策をたて、職員全員が対応できるように努めている。また、不安がある職員には、個別に対応の仕方を伝えています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に川崎市高津消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。また、災害時備蓄品も備えています。</p>	<p>避難訓練は消防署立ち会いで年2回、うち1回は夜間想定で、もう1回は地震時訓練を実施した。地域に声かけしたが参加はなかった。非常用食料、水は3日分と、備品類を備蓄している。懐中電灯はフロア毎に備えている。</p>	<p>災害時に職員だけの誘導では限界があるので、運営推進会議等の支援を得て、地域の人々の協力が得られるように、日頃から話し合いをして、訓練を一緒に行うなど、実践的な取り組みが期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。その方の生活歴や性格を考慮し、言葉掛けや対応をしています。着脱や靴の脱ぎ履きの順番もご本人を尊重し、ご本人の順番に合わせて介助を行う工夫をしています。	言葉使いや接遇については新人研修で説明し、仕事の中では先輩職員が指導している。言葉かけは馴れ馴れしくなりすぎないように注意している。トイレ誘導は耳元で声かけしている。個人情報を含む書類は書庫に施錠して保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉、他の方々に不快感や不穏な状態、健康状態に支障にならない限り、自己決定できる支援を心がけています。購入品の希望があった場合は、一緒に買い物へ行き、自分で選ぶように働きかけています。又、普段の着替えの洋服や飲み物も、自分で選べるよう声掛けを行っています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、配膳の手伝い、散歩などの要望等、可能な限りご本人の意向を優先しています。働きたいのか、散歩をしたいのか、又は、のんびりと過ごしたいのか、聞いてから、行動を共に行っています。就寝時間も体調等を考慮し、時間だから寝ていただく等はしておりません。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思や希望を尊重し、入居者が自分で衣服を選ぶことができるよう声かけを行っています。また、行事の時などは化粧を楽しんでいただいています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや、できる力を把握し、入居者に確認しながら、調理の味付けや盛り付け、片づけなど職員と一緒に行っています。	レシピ付配食サービスの食材を職員が調理している。献立は利用者ごとの嗜好により差し替えている。パン食の方は自前で用意している。利用者はテーブル拭き、下膳、食器拭きを手伝っている。行事の時には職員も利用者と一緒に食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	栄養士によるバランスの摂れたメニュ ーにより調理を行っています。個人の 状態に合わせたご飯の量を盛り付け たり、適切な飲水量が確保できるよ うに、声掛け等、支援を行っています。 水分摂取量や食事摂取量は記録に残 し、一日の総水分摂取量に応じて、ご 本人の嗜好に合わせた飲み物などを提 供しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている	個別に応じたケアを実践しています。 毎食後、口腔ケアの介助が必要な方 には、声掛けや見守りや、必要に応じ て、介助を行っています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている	ご本人の尿意や便意の訴えにより声掛 け、誘導を行っています。尿意や便意 の訴えの無い方、間に合わない方は、 記録により排泄パターンを把握し、時 間を見計らって声掛け誘導を行って います。	排泄チェック表でパターンを把握しト イレ誘導している。リハビリパンツを 使用している方も誘導してトイレでの 排泄を支援している。リハビリパンツ と尿取りパットを使用していた方が 声かけ誘導して、はずせて布パンツ に戻ることができた事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの食事量、水分量を把握 し、排泄の記録を残す事で、便秘の 早期発見と予防に努め、随時体操を 取り入れています。また、必要な飲 水量の確保、牛乳やヤクルトの提供 などで排便コントロールの支援を行 っています。		

45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の意志を尊重し体の状態も考慮し、気分良く入る声掛を工夫しています。拒否がある場合はその方に合わせた声掛や誘導をしています。入浴ができない時が続くような場合は、足浴や清拭で対応しています。	入浴は週に2回以上入れるようにし、希望があればいつでも可能である。朝風呂希望の方にも対応している。入浴したくない方には足浴や清拭に切り替えている。入浴剤を入れたり、バラの花を浮かべたり、季節にはしょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいる。	
----	----	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	各入居者様が、自由に居室やフ ロアにて過ごしています。お一人 での移動が不可能な場合は、そ の時の状態観察を行ったり、ご 本人に聞いてから、休息の支援 を行なっています。夜間安眠して 頂けるよう、日中の体操や散歩 などで活動も考慮し支援してい ます。		
47		服薬支援 一人ひとり が使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	服薬は特に配慮をし、症状の変 化や経過などは主治医へ必ず報 告し、連携に努めています。ま た、看護師が記載した往診記録 の確認、薬チェック表にて薬剤 情報を確認しながら、服薬の 支援を行なっています。服薬介 助は手順書を元にダブルチェッ クを行なっています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	誰かの役に立つ事で生活に張り 合いを感じて過ごせるよう支 援に努めています。家事仕事が 好きな方には、調理や片付け、 洗濯物たたみ等を職員と一緒に 行っており、常に感謝の言葉を お伝えし、職員や他利用者から 感謝されることにより、喜ん でいただいています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している	可能な限り外出を支援してい ます。近隣の梨狩りや、春秋の ばら苑遠足は、ほぼ全入居者様 で参加することができ、ご家族 も数名ご参加いただきました。 また、日常的な買い物で、歩 きや車にて、近所のお店に買 い物に出かけています。	天気をみて近所の公園や多摩 川へ10～20分、車椅子の方 も一緒に散歩に出る。近所で 梨狩りもできる。近所の店や 薬局へ買い物に行く。春・秋 にはバスで生田緑地のバラ苑 へ家族も付き添って出かけて いる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している	金銭管理は主に事務所で行って おり、使った額を請求させてい ただく立替制度を取っています。 ご希望に応じ、家族管理の下、 小額のお金を所持できるように しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	用事がある時や、家に帰りたいたいという訴えがあった時には、家族了解の下、電話ができるように支援を行なっています。また、手紙のやり取りができるよう支援し、大切な人との関わりが続けられるよう支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各共有の空間に、ご入居者と一に生けた花を飾っています。室温は22～24度に設定し、居室にて過ごしている方の状態確認も行っています。また、ご家族の了承のもと、フロアの壁には入居者様の作品や行事での写真等を飾り、入居者様とご家族や来訪者との会話にもつながっています。	玄関、フロア、廊下に花守の職員が利用者と生けた生花が飾られている。リビングの窓は大きく明るい。台所からリビングが見渡せ、死角になる廊下にカーブミラーを設置し、全体が見通せるように工夫している。壁には利用者の習字や行事写真を飾って生活感がある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者同士が和やかな雰囲気でき話ができるよう、声掛けのタイミングを図りリラックスして過ごせる環境作りに努めています。入居者各々が、自由に居室やフロアへの移動を行っています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やお気に入りの写真（アルバム等）や置時計などお持ちいただき、そばに置く事により、自宅に近い感覚で、安心して居心地よく生活できるよう、ご家族と一緒に工夫をする配慮をしています。	居室にはベッドとエアコン、洗面台が備え付けられている。使い慣れた衣類タンス、ソファ、テレビ、加湿器などを置き、人形やぬいぐるみ、家族の写真などに囲まれた気の休まる場所となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内設置の洗面台では口腔ケアや整髪、身だしなみ等自分でできるよう、個別性を重視した環境を目指し自立した生活が送れるよう支援しています。その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています。		

事業所名	花物語 たかつ新館
ユニット名	3F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設理念を念頭に置き、ご入居者一人ひとりの情報を共有し職員一丸となってサポートしています。また、ご家族の思いや悩みをうかがい、そのお気持ちを考えながら、笑顔とふれあいを大切に、施設がご入居者・ご家族の居場所と感じていただけるよう日々の介護を行なっています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、近所の神社納涼祭や例大祭に参加しています。散歩の時には、近隣の方にご挨拶を心がけ、近隣の方からも声をかけていただくこともあります。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設の見学会や説明会を開催し、近隣の方々を招いて施設の説明と同時に、認知症や介護保険についても説明をしています。また、近隣の納涼祭に参加し、地域の方に認知症の人と触れ合いの機会も持っていただくと共に、認知症の人でもできる事を理解していただくよう努めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でいただいた意見をもとに、非常災害時の対応や行事についてのご提案に合わせ検討、実施をしています。また、参加した入居者様からもご意見をいただき話し合いを行		

			っています。		
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>高津区近隣の地域包括支援センターや、近隣の民生委員、地域住民の公園体操への参加や訪問を重ね、運営推進会議や施設見学会の情報をお伝えしたり、相談に乗っていただいたりアドバイスをいただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修にて『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、事例検討を含めて、職員への指導を行っています。現在身体拘束を行っている入居者様はいらっしゃいませんが、必要に応じて家族を含め話し合いを行っています。また、フロアドア・施設玄関については安全防犯上施錠されていますが、入居者様のご希望に応じて職員と共に外出していただいています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で、事例検討を含め、どういう場合が虐待になりうるケースなのかを話し合い、理解を深めています。職員も虐待を見過ごさないように意識を高く持つように心がけています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	このサービスを必要としている利用者は、まだいませんが、認知症ケアを行う上で、必要な知識として、職員間でも話し合いの場を持っています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、話し合いを多く持ち、お互い納得の上でご入居いただいています。特に、終末期ケアや、医療行為に関する疑問を具体的に説明し、転倒の不安がある方には、対応方法の具体的な事例を挙げ、ご家族のご意向として、ケアに反映しています。		

10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の面談や、随時の電話連絡により、家族の意見を取り入れるよう努めています。日々の利用者との関わりや家族との相談の中で、行事に関すること等の要望があり、運営推進会議にて話し合い、取り入れています。		
----	---	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社全体の運営会議やスタッフ会、社員会を通じて意見や提案を検討し、よりよいものにできるよう努めています。日々のケアやカンファの中で、意見の検討を行いながら、随時取り入れています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望等、契約条件などを考慮し、雇い入れを取り交わしています。意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してもらおう、伝えています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備してあります。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけている。また、同一敷地内のグループホームと合同行事を行うことでお互いの気づきを勉強しました。		

14		<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市町村等からの研修等や他施設見学に参加する事により、同業者との情報交換やネットワークを構築するよう努めている。また、他事業所との職員間の交流も行っており、サービスの向上を心がけている。</p>		
----	--	---	---	--	--



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に、家族や本人に要望や不安ごとを聞き、利用開始時にはアセスメントをしっかりと、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話していただけるような関係性を持つようにしている。アセスメントを元にご本人の趣向に合った会話することで早期の信頼関係の構築が出来る様に努めている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人ご家族が困っている事や不安な材料や要望を聞き取るよう常に連絡を取り合い、アセスメントや介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。例としては、入居者の小遣い持参について、ご家族から要望があり、小さな金額に収めていただくこと、家族が管理していただくこと、来設時に確認すること、そのお金は使用しないこと、紛失の可能性もあるという説明をしています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>認知症の度合いや、おかれている環境を把握し、入居者と家族の物理的精神的環境を考慮し、GHが適切かどうかを考慮し、サービスにつなげています。場合によっては、小規模多機能型居宅介護や、他事業などへの紹介も行っています。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の意思を第一に尊重し、本人のADLや意欲に沿った方法で、職員や他利用者と共に行うことで完成し、仕事ができる喜びを分かち合い、他者と協力し合ながら生活できるように努めています。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>常に家族の意見も反映できるようにし、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心がけています。帰宅願望の強い方への対応については、声掛けの仕方を相談したり、本人の要望に応じ、手紙を持参していただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人に電話連絡がしたいとご要望があるときや、携帯電話にかかってきた電話に対し、聞かえるように、わかるように、コミュニケーションの支援を行っています。また、普段の会話の中で思い出深い場所についての話題を取り入れ情報収集に努めています。また、ご家族との外出時などに自宅など馴染みの場所へいけるよう促しています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生日会や季節の行事、納涼祭等、入居者同士の親睦を深めるため他ユニットと合同で行っています。 また、職員がご入居者の間に入り会話の掛け橋になることで、会話のキャッチボールができるよう支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了時は、ご家族を通じて、他事業者への情報提供等、支援を行っています。また、入院の際のお見舞いや手紙の発信などにより良い関係性が継続できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中で、意向や希望の把握を随時行っています。ご本人の要望にあわせ、入浴のご希望や、食事内容を変更したり、お散歩のお手伝いをさせていただくなど、ご入居者の意向を第一に実現できるよう職員で協力しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居後も、利用していた担当ケアマネジャー及び、家族や本人から情報を得て、今までやってきた家事や生け花等の趣味等が継続できるよう、利用に至る敬意や生活環境なども職員間で共有し、これまでの生活習慣が継続できるような支援に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、小さな変化や発見など、気付きを大切にし、職員一人ひとりが、利用者の現状をしっかりと把握し、必要な支援について個別ケアに努め、話し合い対応しています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為、ご本人との会話を大切にし、面会時家族や担当者会議にて職員からの情報を多く得て、介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。		

27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に、時間ごとのご様子や、入居者の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書への反映、見直しを行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性（今までの生活暦等）を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援や親類との関係の調整など、必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の会員になっており、回覧板や町内会から情報を得て、納涼祭や例大祭に参加しています。地域活動への参加等を通して、心身の力を発揮し豊かな暮らしを楽しんで頂くよう支援しています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の定期往診を受けていただいています。心身状態について家族や主治医と常に連携を取り、本人が適切な医療を受けられるよう支援しています。また、定期往診を受けていらっしゃる方も、家族との関係性を重視しながら、精神の状態に応じ、職員が付き添いを行っています。		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りやケアの中で、相談を行ったり、個人記録に記入など、情報の共有を行い、適切な受診や看護につなげています。また、看護師による介護職員への指導も行っており、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。		

32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中のお見舞いでの看護師からの状態報告や、家族との連絡を取ることで、本人の状態を把握するよう努めています。また、退院時にはご家族と共に付き添い、医師から退院後の対応について話しを伺い、施設での生活が快適に過ごせるよう取り組んでいます。</p>		
----	--	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援            重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>指針について入居時に説明し同意を交わし、家族の意向を確認しています。病気発見時は家族の協力を得る為早い段階より十分に話し合い、主治医との連携をとり支援に取り組んでいます。また、急変時対応マニュアルを作成し、職員間で共有しています。どのような状態の時を悪化とするのかを明記し、職員に周知しています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え            利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入社時の研修や、社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告、状況等事例や対策をたて、職員全員が対応できるように努めている。また、不安がある職員には、個別に対応の仕方を伝えています。</p>		
35	13	<p>災害対策            火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に川崎市高津消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。また、災害時備蓄品も備えています。</p>		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。その方の生活暦や性格を考慮し、言葉掛けや対応をしています。着脱や靴の脱ぎ履きの順番もご本人を尊重し、ご本人の順番に合わせて介助を行う工夫をしています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉、他の方々に不快感や不穏な状態、健康状態に支障にならない限り、自己決定できる支援を心がけています。購入品の希望があった場合は、一緒に買い物へ行き、自分で選ぶように働きかけています。又、普段の着替えの洋服や飲み物も、自分で選べるよう声掛けを行っています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、配膳の手伝い等、可能な限りご本人の意向を優先しています。働きたいのか、散歩をしたいのか、又は、のんびりと過ごしたいのか、聞いてから、行動を共に行っています。終身時間も体調等を考慮し、時間だから寝ていただく等はしておりません。		

39		<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>ご本人の意思や希望を尊重し、入居者が自分で衣服を選ぶことができるよう声かけを行っています。また、行事の時などは化粧を楽しんでいただいています。</p>		
40	15	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一人ひとりの好みや、できる力を把握し、入居者に確認しながら、調理の味付けや盛り付け、片づけなど職員と一緒にしています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援            食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるバランスの摂れたメニューにより調理を行っています。個人の状態に合わせたご飯の量を盛り付けたり、適切な飲水量が確保できるように、声掛け等、支援を行っています。水分摂取量や食事摂取量は記録に残し、一日の総水分摂取量に応じて、ご本人の嗜好に合わせた飲み物などを提供しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持            口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>個別に応じたケアを実践しています。毎食後、口腔ケアの介助が必要な方には、声掛けや見守りや、必要に応じて、介助を行っています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援            排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ご本人の尿意や便意の訴えにより声掛け、誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応            便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残す事で、便秘の早期発見と予防に努め、随時体操を取り入れています。また、必要な飲水量の確保、牛乳やヤクルトの提供などで排便コントロールの支援を行っています。</p>		

45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ご本人の意志を尊重し体の状態も考慮し、気分良く入る声掛を工夫しています。拒否がある場合はその方に合わせた声掛や誘導をしています。入浴ができない時が続くような場合は、足浴や清拭で対応しています。</p>		
----	----	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各入居者様が、自由に居室やフロアにて過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、その時の状態観察を行ったり、ご本人に聞いてから、休息の支援を行なっています。夜間安眠して頂けるよう、日中の体操や散歩などで活動も考慮し支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は特に配慮をし、症状の変化や経過などは主治医へ必ず報告し、連携に努めています。また、看護師が記載した往診記録の確認、薬チェック表にて薬剤情報を確認しながら、服薬の支援を行なっています。服薬介助は手順書を元にダブルチェックを行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誰かの役に立つ事で生活に張り合いを感じて過ごせるよう支援に努めています。家事仕事が好きな方には、調理や片付け、洗濯物たたみ等を職員と一緒にこなっており、常に感謝の言葉をお伝えし、職員や他利用者から感謝されることにより、喜んでいただいています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な限り外出を支援しています。近隣の梨狩りや、春秋のばら苑遠足は、ほぼ全入居者様で参加することができ、ご家族も数名ご参加いただきました。また、日常的な買い物で、歩きや車にて、近所のお店に買い物に出かけています。		

50		<p>お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は主に事務所で行っており、使った額を請求させていただき立替制度を取っています。ご希望に応じ、家族管理の下、小額のお金を所持できるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	用事がある時や、家に帰りたいという訴えがあった時には、家族了解の下、電話ができるように支援を行なっています。また、手紙のやり取りができるよう支援し、大切な人との関わりが続けられるよう支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各共有の空間に、ご入居者と一歩に生けた花を飾っています。室温は22～24度に設定し、居室にて過ごしている方の状態確認も行っています。また、ご家族の了承のもと、フロアの壁には入居者様の作品や行事での写真等を飾り、入居者様とご家族や来訪者との会話にもつながっています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者同士が和やかな雰囲気でも話ができるよう、声掛けのタイミングを図りリラックスして過ごせる環境作りに努めています。入居者各々が、自由に居室やフロアへの移動を行っています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やお気に入りの写真（アルバム等）や置時計などお持ちいただき、そばに置く事により、自宅に近い感覚で、安心して居心地よく生活できるよう、ご家族と一緒に工夫をする配慮をしています。		

55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室内設置の洗面台では口腔ケアや整髪、身だしなみ等自分でできるよう、個別性を重視した環境を目指し自立した生活が送れるよう支援しています。その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています。</p>		
----	--	--	--	--	--



目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語 たかつ新館 (GH)

作成日 25年 7月 13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害に対する対応に不安がある	職員の災害時に対する漠然とした不安を取り除く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な、また実践に準じた訓練を行う</li> <li>・身近な災害対策の事例を取り入れた研修を行う</li> </ul>	1年
2	13	職員への研修システムが構築されておらず、職員スキルにバラツキがある	一定レベルのスキルを持ち、質の向上を図れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内での入社時導入研修を取り入れていく</li> <li>・必要に応じてOJTを行う</li> </ul>	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。